

● 顕現後第二主日

# 泉のほとり

今日の詩篇 「第七二編」

栄光に輝く御名をとこしえにたたえよ

栄光は全地を満たす。

アーメン、アーメン。



## 大人になってください

今日は成人式礼拝です。教会の中の若者が成人を迎えたことを感謝し、全教会が改めて大人として生きることを考えることが、今日の礼拝の目的です。

まずこの礼拝ができることを、感謝します。日本で成人式礼拝ができる教会は多くありません。わたしたちの教会も、できなかった時代がありました。成人を迎えた人が、教会の中にいなかったのです。それができることは、本当に感謝です。

しばらく前にイスラエルを旅行して、エルサレムの神殿のあった広場に行きました。門のところから広場の入り口まで通路があつて、そこを、ひとりの若者を中心にした二〇人ほどの集団が、楽隊を先頭に歌ったり踊ったりしながら、行進して行きます。ガイドの説明では、その若者が一三歳になったことをお祝いしているのだ、ということでした。そういう形で成人を祝うのです。

その時大事なことは、大人になるとは、どういうことかです。外側は大人でも中身が子どもでは困ります。わたしたちはそれを聖書をもとに考えるのです。

初代教会の伝道者パウロがコリントの教会の人々に「大人になつてください」と書きました。教会の中に問題があつたのです。そのひとつは異言でした。異言は天国の言葉と言われます。人間の言葉でないので周囲の人々は理解できません。その異言を喜んで語る人々がいたのです。でも周

りの人はわからないできよんとしています。そういう人々を配慮しなさい、という意味で、大人になりなさい、と言つたのです。

これは異言だけの問題ではありません。わたしたちも、自分だけ楽しんで、周りの人には何の意味もない言葉を語ることがあります。白痴話などはそのひとつです。それは異言と一緒に語ることなら、周りの人々を慰めたり励ましたり、その人を盛り上げるような言葉を語るべきです。

新しく成人になる人たちに、いろいろな言葉がかけられます。夢を持ってとか、あきらめなければ夢は実現するとか言われます。でもわたしが若いときに聞いて最も心を動かされたのは、自分が誰のために生きるかを考えなさい、という言葉です。誰のために生きるかがはっきりすると、生き方がはっきりしてきます。わたしは、み言葉で生きている人たちのために生きたいと思つて、牧師の道に進みました。すでに大人になっている皆さんも、自分が誰のために生きているのか、生きようとしていられるのか、考えてください。

もう一つ大事なことは、聖書では、大人になることよりも、子どもになることが多く語られています。神さまの前で素直になることです。そして、大人になればなるほど、神さまの前では子どもになります。わたしたち皆、神さまの前で、よい神さまの子どもになりましょう。

(第一コリント一四・二〇～二二)

## 祈り

○外に雑音が聞こえ、わたし共の内に  
も波立つような音が聞こえること  
も、さらに深くあなたを拝むことが  
できるように備えていくくださる主  
イエス・キリストの父なる御神。御  
前に立つひとときの、しかし永遠の  
深さを持つ静けさを今、真実に味わ  
い知る礼拝の時としてくださいます  
ように。

全世界に祈りを鎧のように連ね流  
けていきます諸教会が、この地上に  
ありまして、そのような真実の静け  
さを作る群れとなり、永遠の確かさ  
の鎧となることができようように。  
多くの人が祈りの家を訪ねると  
き、あなたが生きておられることを  
静かに、しかし、確かに信じて帰る  
ことができようように。今ここに  
いても、どうぞ御言葉を豊かに聞か  
せてください。その静けさの中で、  
あなたの御言葉においてわたし共は  
知ります。あなたのみを神として拝  
み続ける日々であったかを。真実に  
父と母を敬い続けた日々であったか  
を。真実に、それを必要とする者の  
傍らに隣人として立つことができた  
かを。これらのことにおいて恥ずか  
しい思いを持って自らの歩みを振り

返るものがあります。そこに認めざるを得  
ないわたし共の罪を取り去り、罪に囚われ  
ることなく、解き放たれた静けさと平安と  
を知ることができようように。

今ここにあってなお疲れを覚えておりま  
す肉体や心をあなたが励ましてください。  
ただひとつ、御言葉とそこから聞こえてま  
いります真理とに集中することができま  
すようにお願いいたします。唯一の慰めを聞  
かせてください。そして、このただひとつ  
の慰めを必要としている多くの悩みある友  
に、隣いの中にあられます友に、何がまこと  
の慰めであるか分からないまま悩みの中に  
あります家族に、親しい友の上にあなたの  
頼みがあり、あなたの抱きがありますよう  
に。

今ここで聞きます御言葉を、真実の自分  
の魂の糧として受け入れ、喜び勇んでお互  
いに祝福を祈り交わしながら、ここを出て  
行くことができようように。年老いた者、  
年若き者、さまざまな道に立ちます者、そ  
のひとつひとつの道において、あなたに造  
わされて生きることができようように。  
今、そのような者にふさわしい礼拝をささ  
げさせてください。

主イエス・キリストの御名によって、感  
謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

## 今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでの  
コーヒーサーブと、圖書二階リズム室で  
は、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご  
参加ください。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をしま  
す。お昼はお弁当です。今日は報告の中で、  
ギデオンの協会の働きについてのお話しを伺い  
ます。

○今月二十九日(日)の午後に、教会研修会を開  
きます。「愛の業として、奉仕を学ぶ」とい  
うテーマで、学びと話し合いをします。中込  
みを、今日中に各部役員または事務所までお  
出しください。なお二十九日は朝一〇時からの  
一回礼拝になります。

○古村牧師は明日一六日から一九日まで、裾野  
市の修道院で聞かれる説教熟リトリートに参  
加のため出張します。

○次回の洗礼・転入会式は、四月一六日のイ  
スター礼拝です。その日に受洗・転入会をご  
希望の方は、入信記を書いて、一月二二日ま  
でに、牧師あてご提出ください。

## 四国だより

夏が過ぎほつとしている間にももうアドベントの月、十一月を迎え気分はもうクリスマスです。

「神は愛なり」の御言葉に守られ導かれて皆が信仰生活の成長をいただき牧会に励むことが出来た御恵みの日々でありました。

教会学校生徒による聖劇に関して主はこれまでになかった台本をお示し下さいました。「御降誕に及ぶ有名なあのシーンを最後の一幕に残し、始まりのシーンから現代に通用できる完全な伝道劇スタイルにして演じなさい。」との事でした。教師の皆さんにも折りつづどんな場面をつくり上げていくのかを考えていた頂きました。

数日後、一人の姉妹が作って来た台本を皆で読み私達はとても驚き喜びました。一幕は学校帰りの子供達の会話から始まるものでした。「クリスマスの日はどうすぐだね」「町中がクリスマスの雰囲気になつているね!」自然な会話をしている子供たちのほとんどが救い主イエスキリストを知らない。でもその中に一人だけ毎週教会学校に熱心に通う六年生の女の子がいる。クリスマスについては何も知らない友人達に一人の少女

がその質問を受けて、イエス様が誕生された目的、天国は人間の死後、誰もが行けるものではなく決定は神さまがなさる事である事とかどんな小さな事を行う時もある事も神さまは全てを知っておられる事。良い事にも悪い事にも正しく報いて下さる事。みんなを愛しておられること。悪い心を悔い改めることを、その事を正直に告白する事。イエス様はなぜ十字架にかかって下さったのか。その事の意味を知って生きることの幸せ等々を六年生の女子生徒が明確に答え他の生徒たちが天国と地獄の認識をし、驚き喜びながら「日曜学校へ行きたい!」と決意し「必ず行くからね!」と約束します。とどこころに音楽と共に教師達がルカの福音書を朗読しわかりやすく解説も入れます。

(田端良恵記)

## 聖書の会へどうぞ

1月18日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「テモテという弟子がいた」

使徒16章1〜5節

黄允澁副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「散らされた」

使徒11章19〜26節

黄允澁副牧師

## ミニコンサート

1月26日(木) 12時30分

ピアノ演奏

## 次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌 今日もまた新しく 121番

説教 「主イエスの最初のしるし」

聖書ヨハネ2章1〜11節

説教者 古村和雄牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌 77番 171番

詩編 第72篇

説教 「怒りの行き着くところは」

聖書マタイ5章21〜26節

説教者 黄允澁副牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 今日もまた新しく 121番 (1.4)

説教 「主イエスの洗礼」

聖書 ルカ3章15～21節 (新約P106)

司式 森 洋之兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池美穂子 神学生

前奏曲「主キリスト、神のひとり子」J.S.バッハ

○「今日もまた新しく」聖公会讃歌16番

1. 今日もまた新しく 鳥 歌い 喜ぶ  
み言葉に 生かされて たたえよう この日を
2. 草木にも 恵み満ち 雨 露の 輝き  
神の 園の しのぼせる たたえよう この日を
3. ひとすじの 光より 生まれでる この朝  
声高く ほめ歌え み手による この朝 アーメン

○教会学校生徒による讃美

「主のためなら」

○ピアノによる讃美

ゴルトベルク変奏曲「アリアと第1変奏」

J.S.バッハ

○讃美歌 121番 (1.4)

1. 馬槽のなかに うぶごえあげ  
木匠の家に ひととなりて  
貧しきうれい 生くるなやみ  
つぶさになめし この人を見よ
4. この人を見よ この人にぞ  
こよなき愛は あらわれたる  
この人を見よ この人こそ  
人となりたる 活ける神なれ アーメン

聖餐曲「ゆるし」原田信次郎

後奏曲「フーガ」D.バックス/フーゲ

## 第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 2番 239番

詩編 第72編 (旧約P906)

説教 「心を開いてください」

聖書 IIコリント6章11～13節 (新約P331)

7章2～4節 (新約P332)

説教者 ・ 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「たえにうるわしき」J.S.バッハ

○讃美歌 2番

○ピアノによる讃美

ゴルトベルク変奏曲「アリアと第1変奏」

J.S.バッハ

○聖歌隊による讃美

「主イエスを愛する」 J.S.バッハ

主イエスを愛する身こそ幸なれ

心の痛手も 病もいやさる

我が主は愛もて おのれを給いぬ

ああ 我れ主よりなどかは離れん

○讃美歌 239番

聖餐曲「いかに幸いなるか魂の友」M.レーガー

後奏曲「フーガ」D.バックス/フーゲ

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。